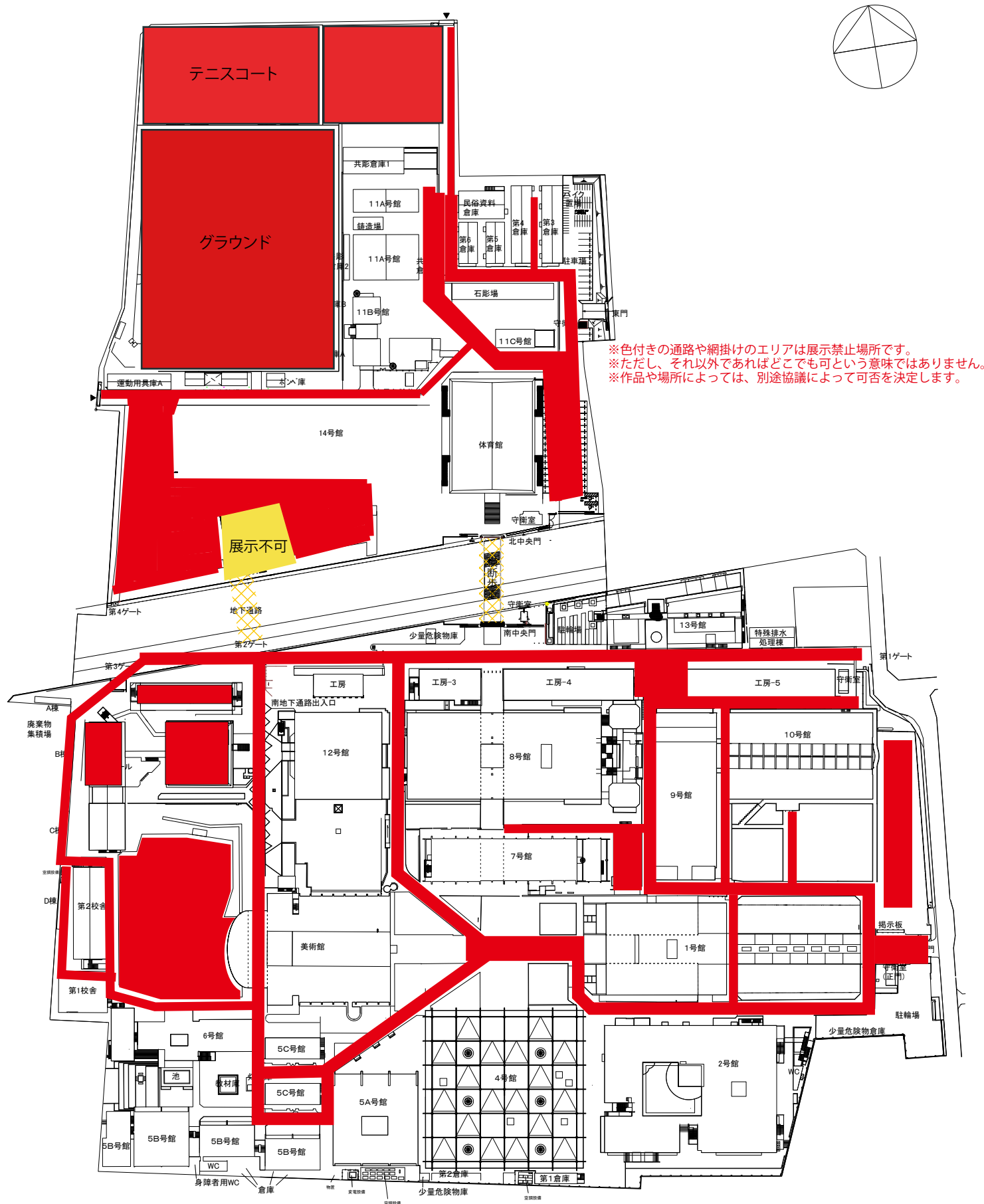


平成30年度 卒業・修了制作展 共有スペース展示禁止エリア



■9号館地下展示室（大・小） 展示禁止区域について

①下記図面のグレー箇所およびエレベータ前、倉庫、小展示室機材庫、機械室、防火設備付近は展示禁止。

②視界や導線を著しく遮る展示（パネル、天吊り、大きな立体作品）の申請は、原則として禁止とする。

③展示室を希望する学生が多いことから、個人で全体空間を仕切る作品についても、原則として禁止とする。

余白の空間まで含め、作品を鑑賞するための空間を、他の多くの展示者と共有できる作品を推奨する。

④網掛け部分の展示でスポットライトを使用する場合は、壁面へ向け、中央部分での展示者に配慮すること。

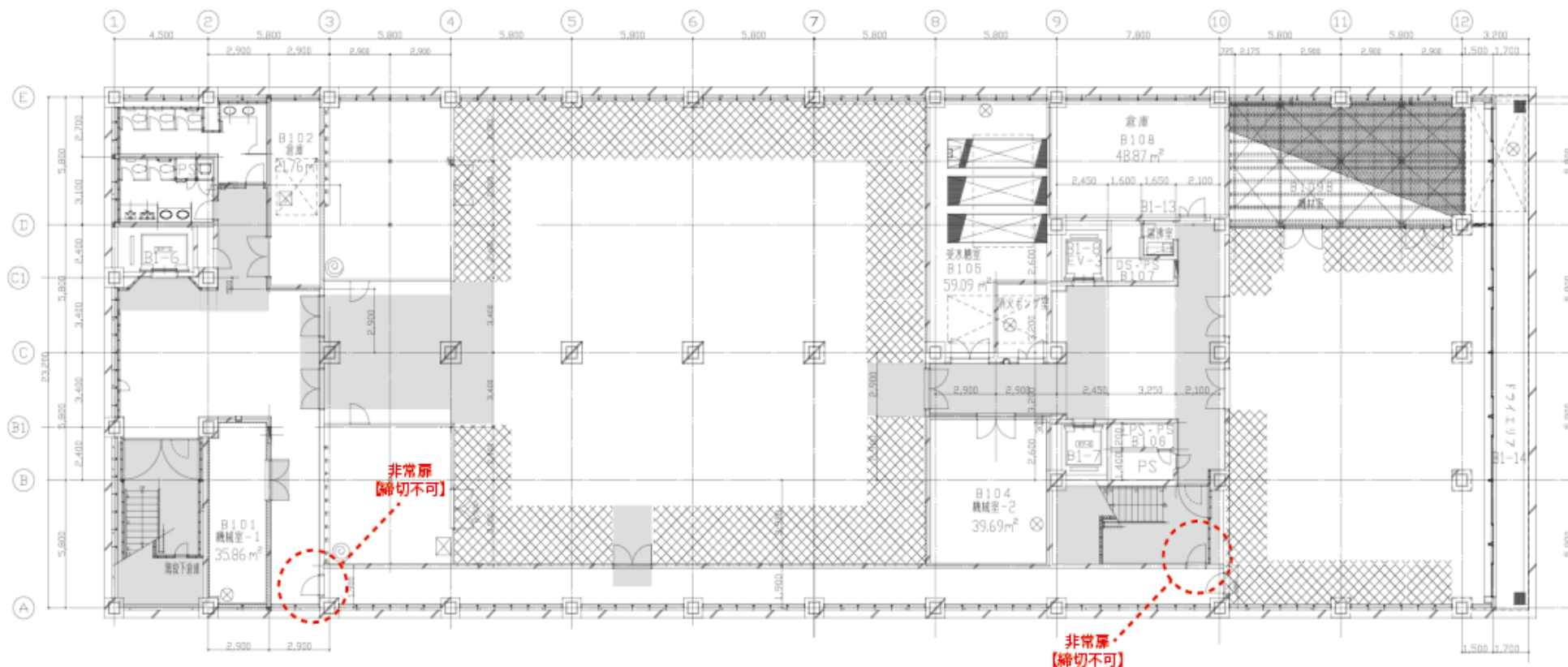
⑤明るさにこだわりのある作品は展示室には向かない。映像を使用するなどして、暗さが必要不可欠な作品については、機材庫や脇通路を推奨する。

⑥9 地下展示室は、壁へのピン打ち、アンカー打ち等の工作は禁止。パテ埋め、コンクリ埋め対応は認めない。エレベータホールも同様に、穴あけのほか、テープ貼りも禁止する。

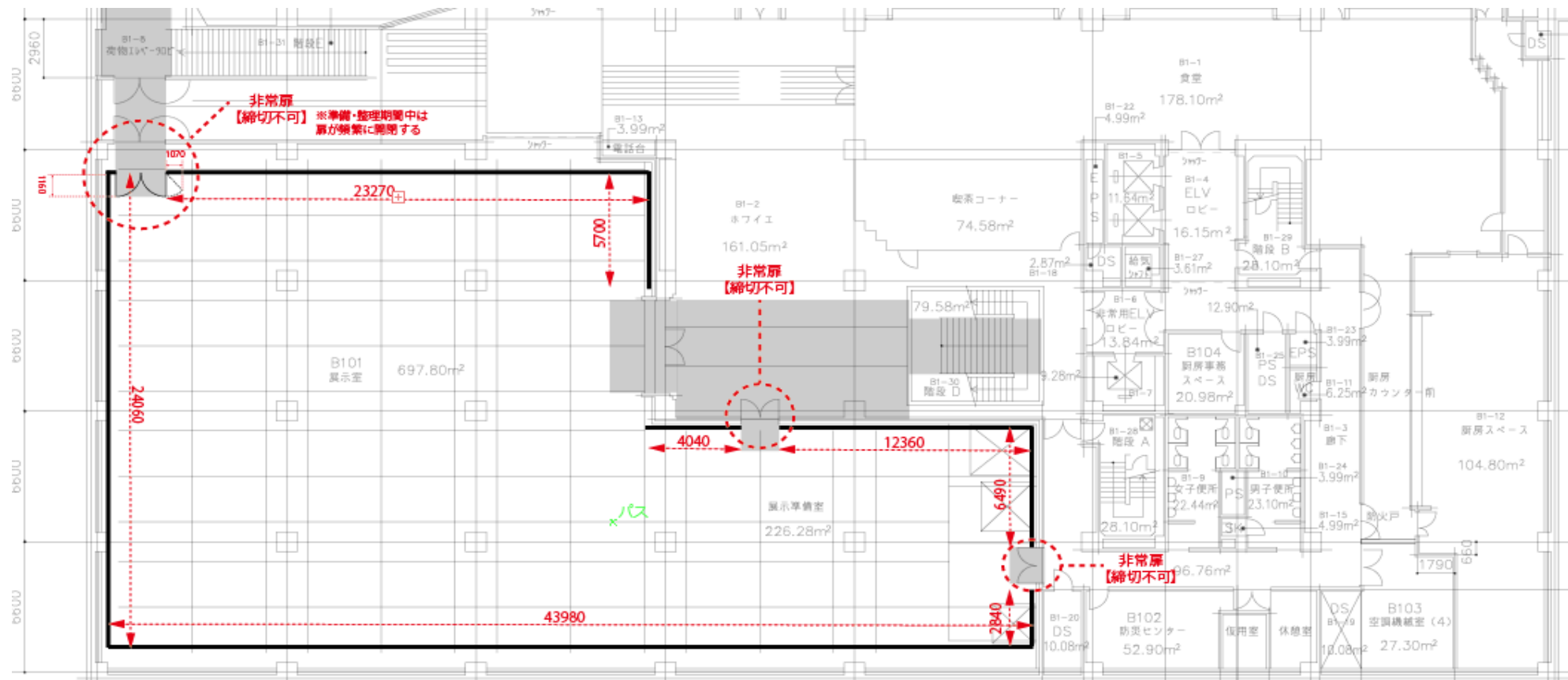
⑦スポットライトは教務担当者から各学生へ配分する。脚立は9 地下展示室前から借用し、9 地下展示室エリアから持ち出さないこと。最終日に必ず指定場所へ返却する。

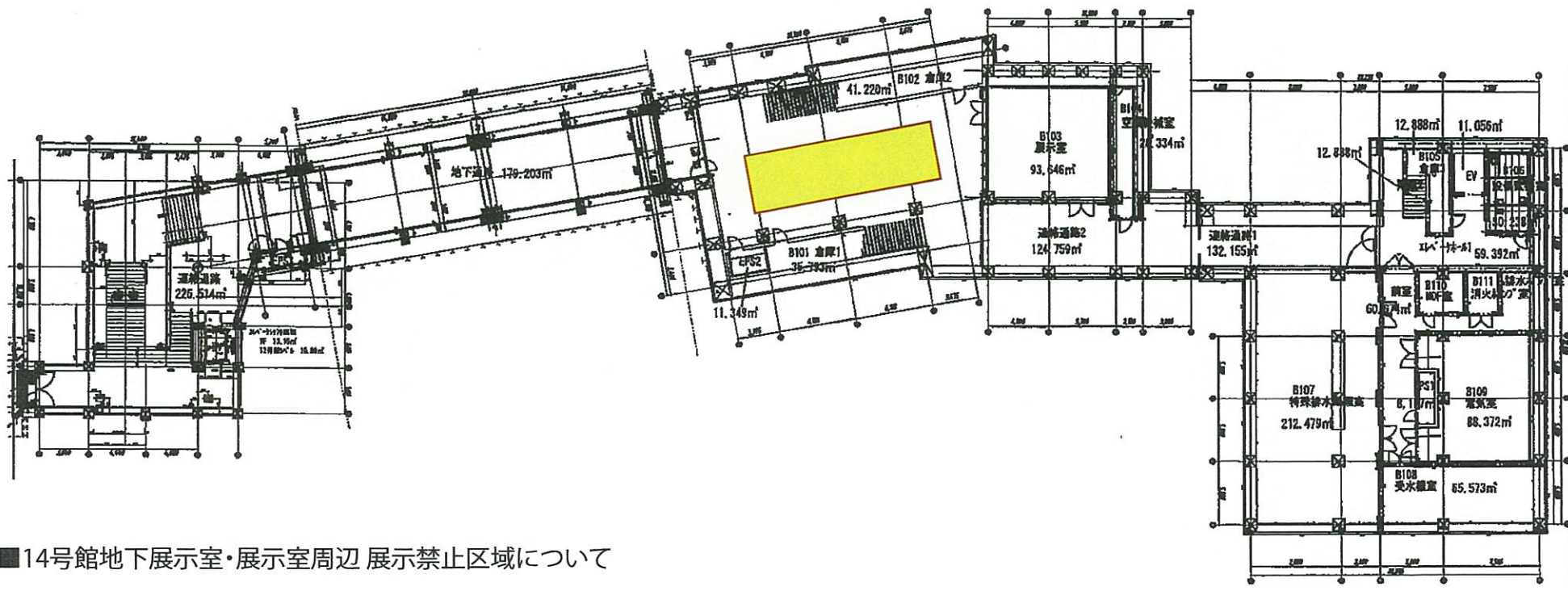
⑧脇通路は通行の支障となる展示は認めない（本来展示スペースではない）。

⑨機材庫の2 階には上がらないこと。



⑧仮設壁へ穴をあけたり、テープを貼ったりした場合は、卒制展後の片付け期間にパテ埋め、および指定塗料での塗装をおこない、原状復帰させること。





■14号館地下展示室・展示室周辺 展示禁止区域について

- ①動線を塞がないこと。
- ②倉庫や設備室の扉を塞ぐような展示は禁止。
- ③展示室以外で許可の可能性のあるのは、 のエリアのみ。
ただし、展示内容を研究室と教務で見て、許可と判断した場合のみ展示可とする。
- ④塗装する、穴をあける、備品や設備を取り外すなど、原状復帰困難な展示は不可。
- ⑤ のエリアは浮き床となっている。そのため積載重量に制限がある。
- ⑥14号館の貨物用エレベーターは地下まで降りないので注意すること。
- ⑦地下通路部分の展示はいかなる場合も法令上許可しない。上から何かを吊るす、等も不可である。
通路は有事の際の避難経路にもなり得ることを考慮すること。